



巴

ともえ

千夜賀風薪能

せん

や

が

ふう

たきぎ

のう

能楽師主催の薪能。日本の伝統文化の「原体験」を。

仕舞 「高砂」小早川 泰輝
「経正」小早川 康充
狂言 「仏師」大藏 基誠
半能 「巴」武田 宗典

プログラム

■ 清談茶会 (※ 別料金・要予約)	14:00
■ 箏のしらべ体験	14:30
■ 静謐の箏曲 箏刀・日本刀×能	16:00
■ 四方祓いの儀	16:40
— 再入場 —	17:00
■ 宵の箏曲 墨ライブペイント	17:10
■ 阿吽の龍 墨絵×能×茶	17:40
■ 月天茶会図	17:55
■ 薩摩琵琶「敦盛」	18:10
■ 仕舞「高砂」 「経正」	18:40
■ 狂言「仏師」	
■ 薪能「巴」	

日時

令和7(2025)年

9月28日(日)

14時00分～20時00分

※ 17:00に一度ご退場のうえ再入場となります。
(阿佐ヶ谷神明宮は17:00まで一般参拝可)

場所

阿佐ヶ谷神明宮

東京都杉並区阿佐谷北1-25-5

鑑賞料

特別席(大人)	12,000円
正面前方席確約・グッズ・撮影特典付	
指定席(一般)	7,000円
自由席(一般)	5,000円
小・中学生	1,000円

※ 上記はすべて17:00以降の演目観覧料金です。

武田宗典ホームページ
チケット販売窓口
6月29日より販売開始



チケット販売サイト:
<https://takedamunenori.com/ticket-other/>
チケットお問合せ: munenori.noh@gmail.com

※ 雨天時、中止の場合は上記チケット販売サイトにてお知らせ致します。

能楽師の手で灯す、今に還る薪能

— 能楽師主催による、時代を超える薪能『千夜賀風薪能』 —

[主催] 親世流能楽師

武田 宗典

TAKEDA MUNENORI

能・狂言



能楽師シテ方観世流。重要無形文化財総合指定保持者。

暁星高校〜早稲田大学第一文学部演劇専修卒。一般社団法人観世会理事。

武田宗和の長男。父及び二十六世観世宗家・観世清和に師事。

2歳11か月で初舞台、10歳で初シテ（主役）、以後、「石橋」「乱」「道成寺」「望月」「翁」「安宅」等を抜く。

海外公演多数。アメリカ公演・英国公演では出演だけでなく、その企画・プロデュース。芸団協・東京アート&ライブシティ主催の能とクラシック音楽のコラボレーション公演、「はごろも〜銀座の飛翔」・「ADACHIGAHARA〜銀座の地下に鬼が棲む」「天鼓 I love Music」において主演。

2021年9月、一般社団法人EXTRAD主催公演において、試作能「桃太郎」を製作・主演。国内では年間100公演程の舞台の他、「謡サロン」を始めとした能楽のレクチャー型講座を、社会人向け・学生向け・子供向け・外国人向け・オンラインなど様々なスタイルで、全国各地で50回程開催。その活動は、フジテレビ系「One hour sense」・テレビ東京系「東京交差点」・J-WAVE

「TIME AND TIDE」など、多くのメディアでも取り上げられている。

Instagram・Facebook等での発信も多く、週1回インスタライブを定期開催。



墨絵師

阿部 朱華羅

ABE SCARA

墨絵



地平天成を祈り日本古来からの美と魂×宇宙/自然を表現するアーティスト。幼い頃から森羅万象の声を感じ絵霊を描きつくる。学生の時、国際コンクールにて6千点を超える応募者から作品『龍王』が受賞し日本代表作品に選出されルーブル美術館にて12ヶ国の代表作品と共に世界大会に出場。以降、フランス、アメリカ、フィンランド、スペイン等、世界各国で受賞・招待展示多数。フランスSalon d'Automne連続入選。2024年パリにて個展開催。多くの書籍に掲載されパリ・アート誌にて“煌めく美の魂”と称される。国内では能舞台絵や神社仏閣の壁画制作、映画グッズにも携わる。

また、自身の作品を身に纏い国内外の美術館や能楽堂、神社仏閣で天地の平安を祈り舞い描く独自のライブペイントをおこなう。

2025年アメリカ サルバドル・ダリ美術館にてアジア人初のアート・パフォーマンス『SCARA花鳥風月』ショー開催。

養老孟司氏が代表理事の一般社団法人「養老の森」にて森と人を日本文化で繋ぐ「ツナグの森プロジェクト」主宰。大学などで非常勤講師国内外でワークショップもおこなう。

■Instagram : @scara_cetidesign



鶴田流薩摩琵琶奏者

馬場 一嘉

BABA KAZUYOSHI

琵琶



鶴田流薩摩琵琶奏者 俳優。雨月ノ衆座員。日本琵琶楽協会会員。

1996年中央大学総合政策学部政策科学科を中退し、デボラ・アン・ディスノー氏主催のクレインリバーワークショップで俳優としての基礎を学ぶ。舞台、映画、CMなどで俳優として活動した後、2004年一般企業への就職に伴い舞台活動を休止。同年、祖父馬場鶴洲の琵琶を継承し岩佐鶴丈氏に師事。生前祖父の得意としていた『龍の口』をはじめ『俊寛』『耳切れ芳一』『分福茶釜』『福原落』『湖水乗切』『鉢の木』『壇の浦』などの古典弾き語りのほか、ダンサー、書家、剣士、語りなどのパフォーマーと共演し活動の場を広げている。

2011年、2017年、2021年、日本琵琶楽コンクール入賞。

2023年、2024年、舞台「やむにやまれぬ蒼」西郷隆盛役で出演。



[主催]

千夜賀風

SENYA - GAFU

刀・薙刀



「旧きに倣い、今に還る」を理念に、日本刀や武士文化を軸とした体験型の文化プロデュースやサービスを展開しています。

神社仏閣などの聖なる空間においては、単なる体験の提供にとどまらず、その土地に息づく物語や歴史、武士が育んだ品性や精神性、さらには彼らが嗜んだ多様な文化・芸術への理解を深めることを目的に、日本の伝統文化の魅力力を再発見する機会を提供しています。

これらの活動と並行して、日本文化の精神性と芸術性が結晶する伝統芸能「薪能」を、五感で体感する特別な文化空間として再構築する「薪能プロジェクト」を展開。体験設計の知見と伝統芸能のネットワークを活かし、地域ごとの風土や歴史、神仏の気配を取り入れながら全国各地で薪能を開催し、子どもたちに“日本の伝統文化の原体験”を届けることで、伝統文化の継承と地域活性化の両立を目指す文化事業として取り組んでいます。



生田流箏奏者

箏アンサンブル十色

KOTO ENSEMBLE TOIRO

箏



東京藝術大学邦楽科箏曲生田流専攻を卒業し、若手演奏家として活動している同期生によって2020年に結成。

「という」には「十人十色」の意味をかけ、メンバーそれぞれの“音”の個性を大切に演奏すること、そして伝統的な曲から新しい曲を通して、箏・十七絃・三味線が魅せるたくさんの“色”を届けたいとの想いから名付けた。プロとして全国各地で演奏経験を持つメンバー個々の実力と、同期生ならではのアンサンブル力を強みとする。

日本の伝統音楽である箏の魅力、様々な企画を通して幅広い世代へ伝えることを目指す。これまでにホールコンサートや奉納演奏、ワークショップ、日本画とのコラボ動画の制作などの活動を行なう。



茶人・自然農藝家

忌部 孔人

INBE MICHIHITO

茶道



茶人・自然農藝家

茶の湯に込められた思いと美しさを、流派や形式にとらわれず、自然・季節の移ろい、不完全さを尊びながら表現している。産土の恵みを受けながら、神事等で使われる麻製品、また霊草・真菰や在来茶の農園を営み、日々の暮らしを彩る品々まで、一つひとつ手仕事で丁寧に紡ぎ出し提供している。

瞑想指導者として

起業家、アスリート、医師、著名人といった様々なフィールドのプロフェッショナルから厚い信頼を集めている、ただ御縁ある方のみ完全紹介制で行っている。

【清談茶会について】

開始時間：14:00～（随時入場）

料金： 3,000円（お茶・お菓子付き）

※ 清談茶会のみの参加も可能です

清談茶会のご予約はこちら

